

2025年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

2026年6月3日

目次

〔Ⅰ〕 公益目的事業の実施状況		
（公1） 青少年交流・教育交流事業	： 総合交流部	3
（公2） 寄宿舍施設の運営	： 留学生事業部	7
（公3） 中国語及び日本語教育	： 日中学院	10
（公4） 文化事業	： 文化事業部	12
（公5） 植林・植樹事業	： 総合交流部	15
〔Ⅱ〕 収益事業	： 財務管理部	17
〔Ⅲ〕 会員相互友好事業	： 日中友好後楽会	20
〔Ⅳ〕 法人会計部門		21
法人の運営体制の充実を図るための取り組み		24

〔Ⅰ〕公益目的事業の実施状況

（公１）青少年交流・教育交流事業

：総合交流部

1. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS」（対象国：中国）

外務省の拠出を受け「JENESYS2025」として、中国を対象とする招聘事業3件、派遣事業3件、フォローアップ事業1件の合計7件を実施した（JENESYS2024 PhaseⅡ、JENESYS2025により実施）。日中間の政治情勢の影響により、11月後半から2026年3月までに計画していた招聘事業4件、派遣事業2件が延期となった。

なお、参加者募集においては、招聘事業は中国側派遣団体を通じて訪日経験のない者を優先して募集、派遣事業では全国の自治体を通じて募集、または会館ホームページでの公募により募集するなど公平性を持って実施した。事業明細は下記のとおり。

（1）招聘事業 3件 合計招聘人数 63名

①中国大学生映画交流訪日団

（JENESYS2024 PhaseⅡで実施）

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
10月24日／ 10月31日 ～11月6日	25	上海大学上海電影学院に所属する大 学生・大学院生 『映画』	東京 埼玉	上海大学上海電影 学院（派遣協力： 在上海日本国総領 事館）

②中国大学生訪日団

（JENESYS2025で実施）

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問地域	担当機関
11月8日／ 11月9日 ～11月15日	30	北京市、河北省の大学生、大学院生 『ウェルネスライフ』	東京 大分	中国日本友好協会

③中国法律・メディア関係者訪日団

（JENESYS2025で実施）

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問地域	担当機関
10月16日／ 10月19日 ～10月25日	8	弁護士・メディア関係者 『法とメディアにおける日中相互理 解の促進及び法治と報道の未来の考 察』	東京 和歌山 奈良	派遣協力：在中国 日本国大使館

(2) 派遣事業 3 件 合計派遣人数 162 名

①日本大学生訪中団第 1 陣

(JENESYS2024 Phase II で実施)

事前オリエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
4 月 3 日・ 5 月 14 日／ 5 月 24 日 ～5 月 30 日	97	日本の大学生・大学院生 『中国とのふれあい』	上海市 江西省 北京市	中国日本友好協会

②日本青年教育関係者訪中団

(JENESYS2024 Phase II で実施)

事前オリエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
9 月 9 日／ 9 月 21 日 ～9 月 27 日	55	日本の教育関係者 『中国とのふれあい』	北京市 湖南省長沙市	中国日本友好協会

③日本青年研究者訪中団

(JENESYS2024 Phase II で実施)

事前オリエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
10 月 9 日／ 10 月 19 日 ～10 月 25 日	10	日本の大学・研究機関等に所属 する青年研究者 『デジタル時代の伝統文化』	北京市 山西省大同市	中国社会科学院

(3) フォローアップ事業 1 件 合計参加人数 79 名 (中国側 28 名、日本側 51 名)

①日中教育関係者 座談会 (中国で実施)

(JENESYS2025で実施)

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
9 月 23 日	28	51	日本青年教育関係者訪中団参加者／ 中国教育関係者代表団参加者	中国日本友好協会

2. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS」(対象国:モンゴル)

(株) JTB に委託し、招聘事業 2 件、フォローアップ事業 1 件を実施した。明細は下記のとおり。

(1) 招聘事業 2 件 合計招聘人数 24 名

①モンゴル訪日団

(JENESYS2024 Phase II で実施)

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	協力機関
2026 年 3 月 3 日／ 3 月 4 日～ 3 月 11 日	14	モンゴルの高校生・大学生等 『日本文化の歴史と未来』	東京、静岡	外務省、在モンゴ ル日本国大使館

②モンゴル訪日団

(JENESYS2025 で実施)

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	協力機関
2026 年 3 月 3 日／ 3 月 4 日～ 3 月 11 日	10	モンゴルの社会人等 『日本の外交・安全保障環境と地 域・国際社会への貢献』	東京、静岡	外務省、在モンゴ ル日本国大使館

(2) フォローアップ事業 1 件 合計参加人数 63 名

実施日	参加 人数	参加者構成・内容
2026 年 3 月 21 日	63	過去の招へいプログラム参加者 モンゴル現地での同窓会

3. 会館予算による交流事業

日本国内での交流事業1件、中国での交流事業（派遣事業含む）2件を実施した。明細は下記のとおり。

(1) 日本国内での交流事業 1 件

①新時代の日中学術討論会（上海国際問題研究院との討論会）

実施日	参加人数		参加者の構成・テーマ
	中国側	日本側	
7 月 15 日	5	5	中国側：上海国際問題研究院一行 日本側：各テーマ分野の研究者 『トランプ時代の北東アジア情勢』『台湾問題』 『日中関係』

(2) 中国での交流事業（派遣事業含む）2 件

① 第二回日中友好人的・文化交流フォーラム（中国人権発展基金会との共催）

実施日	参加人数		参加者の構成
	中国側	日本側	
7 月 27 日	約 30	9	中国側：中国人権発展基金会、中国社会科学院他、大学・研究機関等に所属する研究者 日本側：大学・研究機関等に所属する研究者

「日中現代化への対話：過去と未来の探求」を主題とした 4 つのセッションを実施。日本側参加者は、「2025 年日中友好人的・文化交流フォーラム訪中団」として訪中し、フォーラムの後、中国側のアレンジにより内モンゴル自治区等を視察した。

②長野県高校生文化訪中団

派遣期間	派遣人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
9 月 22 日～ 9 月 28 日	63	長野県の高校生（吹奏楽部・書道部）、教員、長野県日中友好協会職員	北京市 河北省	共催：長野県日中友好協会 後援：長野県庁、長野県教育委員会 受入：中国日本友好協会、 河北省人民対外友好協会 協力：北京荷風芸術基金会

学校訪問では、長野県の高校生が吹奏楽を披露したほか、書道パフォーマンスを行い、日本語を学ぶ学生とのグループ交流を実施した。また、北京荷風芸術基金会に所属する小中学生との合同演奏会に参加した。

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」203室（1階～3階）がある。後楽ガーデンホテル3階にあった中国からの訪問研究員のための宿舎「後楽寮研修棟」18室は、2026年3月末日で終了した。

1. 後楽寮および後楽寮研修棟の入退寮状況

(1) 後楽寮 資格区分別入退寮者数

	2025年4月1日 時点の在寮生数	2025年度		2026年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	115	98	86	127
単位公派	2	5	5	2
自費学生	9	3	4	8
華僑学生	1	0	1	0
合 計	127	106	96	137

* 国家公派とは中国国家留学基金管理委员会（CSC）の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方大学、研究所の派遣留学生・研究員、訪問学者

* 自費学生は大学院課程生（修士課程・博士課程）、交換留学生

(2) 後楽寮 男女別入退寮者数

	2025年4月1日 時点の在寮生数	2025年度		2026年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 性	69	61	47	83
女 性	58	45	49	54
合 計	127	106	96	137

(3) 後楽寮研修棟 資格区分別入退寮者数

	2025年4月1日 時点の在寮生数	2025年度		2026年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	1	0	1	0
単位公派	1	0	1	0
合 計	2	0	2	0

※2024年9月18日より入寮停止

* 国家公派とは中国国家留学基金管理委员会（CSC）の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方大学、研究所の派遣留学生・研究員、訪問学者

(4) 後楽寮研修棟 男女別入退寮者数

	2025 年 4 月 1 日 時点の在寮生数	2025 年度		2026 年 3 月 31 日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 性	1	0	1	0
女 性	1	0	1	0
合 計	2	0	2	0

(5) 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は 1985 年 4 月に、また「後楽寮研修棟」は 1988 年 4 月に開設された。それぞれ 41 年および 38 年が経過したが、その間の入退寮者の総数は下記表の通り。

(2026 年 3 月末現在)

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,621	4,484
後楽寮研修棟	1,121	1,121
合 計 (人)	5,742	5,605

2. 後楽寮施設の運営管理全般に関する事項

(1) 施設定期検査

- ・ 建築設備定期検査、消防・電気・空調設備の点検
- ・ 居室内及び共用部の定期清掃・消毒

(2) 大規模修繕

- ・ 工期を 9 回に分けて 203 室を修繕し、2 月 8 日に施工完了した。

(3) 健全な運営体制の確保

- ・ コスト削減を重視した食堂経営として、事前予約制を導入。廃棄数ゼロを達成。
- ・ 調理師帰国に伴い食堂は一時休業（11 月～3 月）。

3. 寮および寮生の各種活動

(1) 寮生委員会（寮生代表による自治組織）への協力

- ・ 留学生事業部は寮生委員会との協議会を定期的に実施し、後楽寮の生活改善のために意見交換や情報交換を行った。

(2) 交流活動の実施、支援

- ・寮生委員会主催催事における招待状の発送。

①寮内行事

<主な行事>

7月31日 第40回岸本奨学金授与式

9月26日 中華人民共和国成立76周年祝賀会および日中友好会館後楽寮設立40周年記念式典

2026年

1月23日 後楽寮生全体大会

2月8日 後楽寮2026年春節祝賀会

2月15日 春節前夜餃子宴

②寮外行事

<主な行事>

5月20日 北区日中友好協会 日中友好促進懇談会

5月22日 日本留学生宿舎財団協議会定例会（ほか、8月29日、11月13日、2026年2月19日）

7月22日～24日 長野県日中友好協会 ホームステイ

8月5日 東京都北区主催納涼盆踊り、及び北区日中友好協会主催懇親会

11月8日 中国大使館の協力により静岡県掛川市・浜松市日帰りバスツアー

12月5日 藤沢市視察体験プログラム

2026年

1月18日 東京華僑総会の新年聯歡会

3月7日 文京区都市交流フェスタへの出展

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 各科在籍者数推移

	定 員	2025 年度	2024 年度	2023 年度
本科 1 年	40 (2)	6 (1)	5 (1)	6 (1)
本科 2 年	40 (2)	3 (1)	7 (1)	7 (1)
本科 研究科	20 (1)	0 (-)	2 (1)	3 (1)
日本語科 1 年	40 (2)	33 (2)	24 (2)	7 (1)
日本語科 2 年	40 (2)	15 (1)	8 (1)	6 (1)
日本語科 10 月生 1 年	20 (1)	11 (1)	17 (1)	0 (-)
日本語科 10 月生 2 年	20 (1)	11 (1)	1 (-)	4 (1)
別科 総計	—	1,515	1,669	1,727
合 計		1,594	1,733	1,760

※ () はクラス数

2. 各科活動状況

2025 年

4 月 5 日 入学式

4 月 25 日 本科 (2 年) ・日本語科合同都内見学 (浅草)

5 月 29 日～30 日 本科・日本語科合同合宿 (千葉県白子町)

7 月 2 日 本科 (1 年) ・日本語科 (1 年) 合同朗読大会

10 月 18 日 文化祭

11 月 25 日 本科 (1 年) ・日本語科合同小石川後樂園散策

2026 年

2 月 4 日 本科・日本語科合同スピーチ大会

3 月 16 日 卒業式

学院報 563～566 号 (3 ヶ月毎の季刊号)

(1) 本科

① 2025 年度卒業者数 3 名

② 2025 年度の主な行事

6 月 30 日～7 月 31 日 本科 (2 年) 中国短期研修 (中国人民大学)

③ 公開講座 (8 月 23 日、11 月 8 日、2026 年 1 月 24 日)

④ 進路指導

4 月 25 日 個人面談

(2) 日本語科（専門課程）

① 2025 年度卒業者数 20 名

② 2025 年度の主な行事

2025 年

11 月 9 日 40 周年同窓会

2026 年

1 月 21 日 国会見学

2 月 16 日 春節パーティー

③ 進路指導

6 月 20 日 進路説明会

7 月 26 日 個人面接

(3) 別科（付帯教育）

① 公開無料講座 年間 12 回

3. 文京区中国人児童に対する日本語教育支援

- ・ 2025 年 10 月より文京区の委託を受け、中国人児童に対する日本語教育支援を開始。
2026 年 3 月末での支援人数：80 人

(公4) 文化事業 : 文化事業部

《2025 年度の文化事業》

主催事業 : 3 件、共催・協力事業等 : 6 件、会館美術館での貸美術館催事 : 12 件。

1. 主催事業 (2025 年 4 月～2026 年 3 月)

- (1) 催 事 : 「ART×LIFE 終わりになき素材の息吹 中国現代アート作品展」
会 期 : 2025 年 7 月 5 日 (土) ～8 月 3 日 (日) / 開館日 26 日間
会 場 : 日中友好会館美術館
入 館 料 : 500 円
来館者数 : 880 人 (1 日平均 33 人)
展示内容 : 中国各地で活躍する 18 人のアーティストによるミクストメディア作品約 19 点
- (2) 催 事 : 2025 年特別企画「茶馬古道ろまん ― 中国雲南省無形文化遺産の世界」
会 期 : 2025 年 10 月 11 日 (土) ～11 月 30 日 (日) / 開館日 45 日間
会 場 : 日中友好会館美術館
入 館 料 : 1,000 円
来館者数 : 2,720 人 (1 日平均 62 人)
展示内容 : 茶馬古道沿線に息づく雲南省の無形文化遺産である白族の絞り染め、甲馬版画、鶴慶銀器、チベット族の木椀、琺瑯絵画、烏銅走銀など約 150 点
- (3) 催 事 : 2026 年新春展「美術館 38 年のあゆみ ― 日中友好会館収蔵品展」
会 期 : 2026 年 1 月 10 日 (土) ～2 月 15 日 (日) / 開館日 32 日間
会 場 : 日中友好会館美術館
入 館 料 : 300 円
来館者数 : 830 人 (1 日平均 26 人)
展示内容 : 美術館設立以来、寄贈を受けた貴重な収蔵品の中から書・絵画・彫刻作品など約 50 点

2. 共催・協力事業

	催事名	開催時期	主催団体	会場
1	「古代中国の歌」講座 ※協力	2025 年 4 月 19 日	上海市对外文化交流協会、 健図文化グループ	日中友好会館 地下 1 階大ホール
2	傳承有道・大書法國際名家(東京)邀請展 張華慶大書法藝術館乙巳特展 ※協力	2025 年 6 月 5 日～ 6 月 10 日	日本中国文化交流協会、中国硬筆書法協会大書法專業委員會、香港大書法協会、中国・《書法》雜誌編集部	日中友好会館美術館
3	中国名作映画鑑賞会 ※共催	2025 年 6 月 27 日～ 6 月 29 日	中華人民共和國駐日本国大使館	日中友好会館 地下 1 階大ホール
4	第 8 回「国航杯」在日華僑華人子女中国語スピーチコンテスト ※協力	2025 年 10 月 26 日	中国国際航空公司日本支社、 人民日報海外版日本月刊	日中友好会館 地下 1 階大ホール
5	中国ドキュメンタリー映画祭 in Japan (第一会場) ※共催	2025 年 11 月 14 日 ～11 月 16 日	中華人民共和國駐日本国大使館、株式会社ワノユメ	日中友好会館 地下 1 階大ホール
6	70-80 日中平和友好記念プロジェクト「平和のバトン」 ※共催	2025 年 12 月 13 日 ～12 月 18 日	70-80 日中平和友好記念プロジェクト運営委員会	日中友好会館美術館

3. 貸美術館催事

日中友好会館が共催・協力した事業は※印で注記

	展覧会名	会期	主催
1	張煉先生の日本展（塑之和合）	2025 年 4 月 2 日～4 月 9 日	湖北美術学院
2	万立写真展	2025 年 4 月 11 日～4 月 14 日	(株) グランドギャラリー
3	「生命の光」：日中絵画交流展	2025 年 4 月 19 日～4 月 25 日	中国伝媒大学
4	泊心堂墨意—中国作家潘軍画展	2025 年 5 月 13 日～5 月 16 日	安徽省文学芸術院、ジョイントコーポレーション (株)
5	第三回襟呉帯冷-中日篆刻と印鈕彫刻国際学術交流展	2025 年 5 月 23 日～5 月 26 日	西泠印社美術館、杭州金石全形拓非遺保護發展センター、福建省文学芸術対外交流センター、中日金石篆刻協会

6	千秋筆墨 ― 徐家康水墨書画東京展	2025 年 5 月 29 日～6 月 2 日	華立日本（株）
7	傳承有道・大書法國際名家(東京)邀請 展 張華慶大書法藝術館乙巳特展 ※協力	2025 年 6 月 5 日～6 月 10 日	日本中国文化交流協会、中国硬筆 書法協会大書法專業委員會、香港 大書法協会、中国《書法》雜誌編 集部
8	《陽明の物語》龍場悟道 貴陽孔学堂特 展	2025 年 6 月 16 日～6 月 20 日	貴州省貴陽孔学堂文化傳播センタ ー
9	狂狷と禅墨―中日書画芸術交流聯展	2025 年 8 月 18 日～8 月 22 日	吉林大学日本校友会
10	現代中国重彩画と日本画の国際美術展	2025 年 9 月 2 日～9 月 5 日	筑夢絲路国際文化交流センター、 日中經濟文化交流センター
11	書道行	2025 年 9 月 9 日～9 月 21 日	書道行展実行委員会
12	70・80 日中平和友好記念プロジェクト 「平和のバトン」 ※共催	2025 年 12 月 15 日～12 月 18 日	70・80 日中平和友好記念プロジェ クト運営委員会

(公5) 植林・植樹事業 : 総合交流部

外務省が2025年度予算で実施した「植林・植樹国際連帯事業」に関し、以下の事業につき日中友好会館が受託・実施した。

1. 2025年度モンゴル国における植林及び派遣・招へい事業

①植林事業

事業名：ゴビアルタイ県南ゴビ森林再生のための植林事業

植林場所：ゴビアルタイ県ツォグト郡

植林面積：10ヘクタール

モンゴル側関係機関：ゴビアルタイ県自然環境局、ゴビアルタイ県ツォグト郡、
オイスカモンゴル

事業実施期間：2025年9月～2028年9月

②派遣事業

2025年度日本青年友好植樹団モンゴル派遣

事前オリエンテーション/ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
9月19日／ 9月28日～ 10月4日	13	団長、大学生・大学院生9名、 日中友好会館等事務局3名 『環境保護（砂漠化防止、乾燥地・寒 冷地における植樹・植林等）』	ウランバートル 市、トゥブ県ホ スタイ	派遣協力： 在モンゴル 日本国大使 館

参加者は、環境分野を研究する、または同分野に関心を持つ学生を、大学を通じて広く募集した。

③招聘事業

モンゴル青年環境視察交流訪日招へい

招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問地域	担当機関
2026年 1月27日～ 2月3日	30	義務教育学校生徒（高校生相当）、 大学生・大学院生等 『環境・防災』	東京、埼 玉、京都、 大阪	在モンゴル日本国 大使館

参加者は、在モンゴル日本国大使館を通じ、外務省からの委託による植林事業を実施している県の義務教育学校の学生等を募集した。

2. 2023 年度及び 2024 年度開始モンゴル植林事業

旧「日中植林・植樹国際連帯事業」においてモンゴルで実施した植林の継続部分を実施。

①事業名：モンゴル北部地域における森林再生のための植林事業

植林場所：オルホン県 バヤンウンドゥル郡

植林面積：10 ヘクタール

モンゴル側関係機関：オルホン県自然環境・観光局、オイスカモンゴル

事業実施期間：2023 年 8 月～2026 年 8 月

②事業名：モンゴル南部地域におけるサクサウル林の再生事業

植林場所：ウムヌゴビ県セブレイ郡

植林面積：10 ヘクタール

モンゴル側関係機関：ウムヌゴビ県自然環境・観光局、オイスカモンゴル

事業実施期間：2024 年 10 月～2027 年 9 月

3. 第三国での植林事業

「日中植林・植樹国際連帯事業」において実施した日本と中国以外の第三国での植林に対する助成の継続部分を実施。

2022 年度「旧『日中植林・植樹国際連帯事業』による助成事業」(3 年目 下刈・保育) 5 件

2023 年度「旧『日中植林・植樹国際連帯事業』による助成事業」(2 年目 下刈・保育) 4 件

4. 日中植林・植樹国際連帯事業の閉鎖事務

2015 年度から 2024 年まで実施した「日中植林・植樹国際連帯事業」の終了に伴い、一部事業の精算、報告書作成等の残務処理を行い、同基金の閉鎖事務を行った。基金残金は 2025 年 12 月に国庫に返納した。

〔Ⅱ〕収益事業：財務管理部

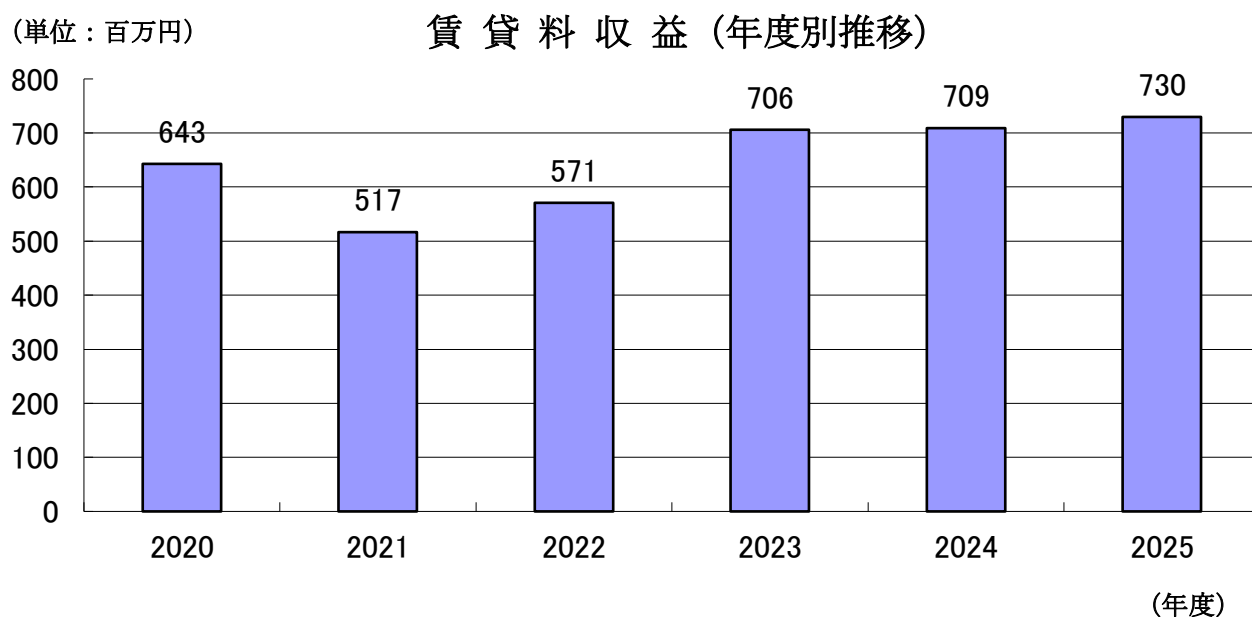
オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：

1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

2025年度の賃貸料収益は730百万円であり、対前年度比で21百万円の増収となった。

年度を通じて、オフィスフロアは一部倉庫を除き満室稼働であり、空室が続いていた地下1階の中国料理店跡地は、2025年7月にオフィスとして入居決定。加えて2026年2月に同法人により隣接する空室への入居も決定した。

年度末時点のテナントの入居状況は、添付資料1-①「テナント入退去状況一覧表（2026年3月31日現在）」参照。



※賃貸料収益には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

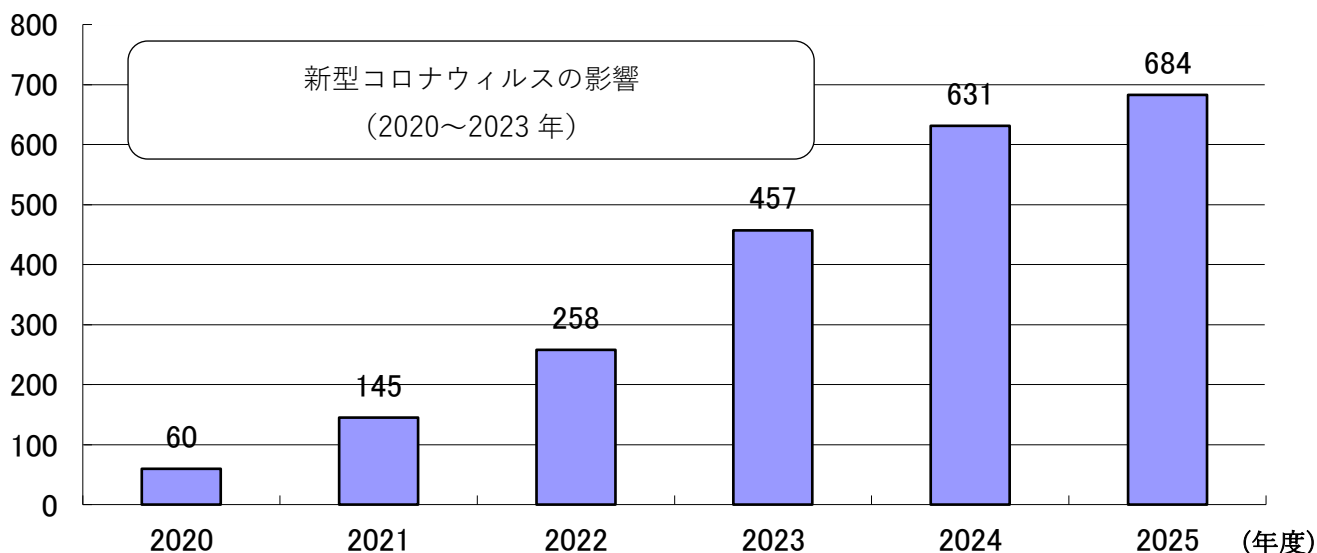
2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

2025年度は、年間売上が684百万円、平均稼働率が83.6%、平均単価は12,279円であった。

2026年4月よりホテルの運営会社が三井不動産（株）からリソル（株）へ移行するため、3月16日から4月24日まで再開業準備期間として営業を一時休止したが、その影響は限定的で、年間売上は前年度比52百万円増加した。過去最高の年度売上・平均単価を記録した前年度の成績を更新した。

(単位：百万円)

ホテル室料収益（年度別推移）



※ホテル室料収益には、ホテル客室（167室）の売上に加え、3階研修棟（20室）の売上も加算されている。

3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施しているが、全館で設備の劣化が進行、破損や故障などが頻発しており、その修理にも対応した結果、年度予算 269 百万円に対して 2025 年度は総額で 222 百万円の工事を実施した。

後楽寮の寮室は前回の改修から 22 年が経過していたため、全 203 室の改修工事を完了させた。

2025 年度工事実績は、添付資料 1-②「2025 年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況（実績）」参照。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。（番号は添付資料 1-②の表中の番号）

「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

(1) 後楽ガーデンホテル

1-⑦ 6 階洗濯室排水管更新	／2025 年 5 月	5,300 千円
1-⑦ ホテル改修工事（着手金）	／2026 年 3 月	9,747 千円

(2) 後楽国際ビルディング

2-② 11・12 階男女トイレ改修工事	／2025 年 4 月	20,500 千円
2-④ 1 階管理センター冷温水管保温補修工事	／2025 年 4 月	1,200 千円

(3) 会館施設		
3-②	101・102・103・105号室内装工事／2026年2月	1,524千円
(4) 会館収益施設		
4-③	B1階（旧楓林）電灯負荷分割工事／2025年5月	1,420千円
(5) 後楽寮及び研修棟		
5-①	網戸修理工事（撤去）／2025年5月	1,500千円
5-①	網戸修理工事（新設）／2025年5月	2,234千円
5-②	寮室改修工事／2025年4月	67,000千円
5-③	給湯用加圧ポンプ改修工事／2025年8月	6,100千円
5-④	エコキュートオーバーホール工事／2025年8月	4,110千円
(6) 本館共通		
6-④	受水槽更新工事／2025年7月	44,000千円
6-④	受水槽更新工事に伴う電気設備工事／2025年7月	1,650千円
6-⑤	受電設備更新工事／2025年5月	10,700千円
6-⑥	ホテル給湯補給水用水道メーター更新／2025年5月	2,700千円
6-⑦	地下4階動力盤B4P-2更新／2025年5月	3,400千円
6-⑦	地下3階男子トイレ・浴室配管修理工事／2025年4月	7,700千円
6-⑦	地下3階女子トイレ・浴室用バルブ設置他工事／2025年7月	3,600千円
6-⑦	地下3階女子トイレ・浴室配管修理工事／2025年9月	7,200千円
6-⑦	地下3階倉庫6漏水対策工事／2025年9月	2,550千円

〔Ⅲ〕 会員相互友好事業： 日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め、日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月に発足。

1. 会員数

	2025年度末	2024年度末
個人会員数	47名	48名
法人会員数（組織・団体等）	1社	1社

2. 活動概要

①会員総会（5月14日）

- ・講演 テーマ「中国の北の隣国モンゴル～モンゴルは面白い～」
講師：津下 陽子 外務省国際報道官室 首席事務官
- ・交流茶話会

②会報の発行

会員向けに「後楽会だより」を月1回（月初）発行。

③中国旅行

西安・敦煌をめぐる中国旅行の実施を予定したが、昨今の日中情勢の影響も考慮し中止とした。

④会員向け文化講座

中国画教室を専門家の指導の下、月2回（第1、第3木曜日）実施。

[IV] 法人会計部門

1. 評議員会

開催日時・場所	議 事 事 項
臨時評議員会（書面決議） 2025 年 5 月 9 日（金）	議題 第 1 号議案：藤江陽子氏の評議員選任
定時評議員会 2025 年 6 月 20 日（金） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2024 年度 事業報告・計算書類の承認
臨時評議員会（書面決議） 2025 年 9 月 25 日（木）	議題 第 1 号議案：2025 年度事業計画書及び収支予算書の修正
臨時評議員会 2026 年 3 月 19 日（木） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2026 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び 設備投資計画書の承認 第 2 号議案：2026 年度常勤役員報酬の承認 報告事項 (1) 新たな建物管理委託先、ホテル運営先との契約締結

2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
臨時理事会（書面決議） 2025 年 4 月 21 日（月）	議題 第 1 号議案：臨時評議員会の招集（決議の省略の方法による）

第 56 回理事会 2025 年 6 月 3 日（火） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：「日中植林・植樹国際連帯事業」拠出金の国庫返納について 第 2 号議案：2024 年度事業報告・計算書類の承認 第 3 号議案：定時評議員会の招集の議決 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2025 年 3 月～5 月) (2) 公益目的事業比率に関する内閣府の回答について (3) 後楽寮居室の全面改修について (4) 建物管理委託契約等の契約先変更について (5) 諮問委員会の助言の報告
第 57 回理事会 2025 年 9 月 10 日（水） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2025 年度事業計画書及び収支予算書の修正 第 2 号議案：オフィス棟エレベーターの更新について 第 3 号議案：国内出張旅費規程及び海外出張旅費規程の改定 第 4 号議案：重要な使用人の人事異動 第 5 号議案：臨時評議員会の招集について 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2025 年 6 月～8 月) (2) 建物管理委託契約等の契約先の変更について（状況報告） (3) 諮問委員会の助言の報告
臨時理事会（書面決議） 2025 年 11 月 11 日（火）	議題 第 1 号議案：ホテル運営形態の変更に伴う賃貸借契約の締結

第 58 回理事会 2025 年 12 月 9 日（火） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：嘱託給与規程の制定及び嘱託就業規則の改定 第 2 号議案：国内出張旅費規程及び海外出張旅費規程の改定 第 3 号議案：日中学院学則の改定 第 4 号議案：「文化事業」諮問委員会規程の改定 第 5 号議案：文化事業諮問委員の選任 第 6 号議案：役員賠償責任保険の更新 第 7 号議案：参与（野口修二氏）採用の承認 第 8 号議案：参与（小林政勝氏）採用の承認 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2025 年 9 月～11 月)
第 59 回理事会 2026 年 3 月 4 日（水） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2026 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資計画書の承認 第 2 号議案：就業規則（職員・中国政府派遣職員・嘱託）の改定 第 3 号議案：職員給与のベースアップについて (職員給与規程の改定) 第 4 号議案：後楽寮規則の改定、後楽寮研修棟短期入寮規則の廃止 第 5 号議案：受託単価規程の制定 第 6 号議案：日中学院学則の改定（再修正） 第 7 号議案：会館全施設の施設管理・運営およびテナント管理・運営業者の変更に伴う請負契約の締結 第 8 号議案：荷物用エレベーター（第 6 号・7 号機）の更新 第 9 号議案：重要な使用人の人事異動（部長以上の人事） 第 10 号議案：臨時評議員会の招集の決議 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2025 年 12 月～2026 年 2 月) (2) 日中学院の経営状況と課題

3. 広報 : 広報チーム

- ・組織横断型の広報チームが各部の意見を取りまとめ、より有意義な広報を目指して活動。
- ・会館ホームページ
タイムリーな情報配信を心掛け、日中友好会館美術館での催事案内・報告、総合交流部で実施した青少年交流事業の報告、後楽寮生の活動報告、役員の対外活動の記事等を掲載した。読み物として、連載コラム「今どき北京はこう歩く」や日中大学生意識の紹介、ピアニスト・瀬田裕子氏インタビュー等を掲載した。
- ・メールマガジン
ホームページ掲載記事を主な内容として毎月初旬に配信した。送付先拡大のため、後楽寮を退寮・帰国した寮生や美術館催事に合わせて周知を図り、配信先を追加した。
- ・会館パンフレット
対外的に当会館組織及び事業を周知するため、在庫数の減少にともなうリニューアルを行い、2025年11月に発行した。
- ・日中友好会館年報
活動の総括として毎年発行していた「年報」は、2025年以降は発行しないこととし、迅速な情報発信とアクセスの容易さを重視して、ホームページ上での情報公開とすることとした。

4. 法人の運営体制の充実を図るための取り組み

(1) 人事制度関連

- ・総務・財務部と資産管理部を総務人事部と財務管理部に改組（4月）
- ・新人事制度の本格運用開始（4月）
- ・嘱託制度の改定（12月）（2026年4月から運用開始）
- ・2026年4月より職員給与のベースアップを決定（2026年3月）
- ・第二新卒の採用活動を実施（第二新卒・新卒計5名の採用を決定）

(2) 職員研修の実施

- ・新任管理職研修（4月23日）
講師：（一社）100年ライフデザイン・ラボ
- ・中堅職員のためのオーナーシップ研修（6月9日）
講師：（株）インソース
- ・公益法人制度に関するセミナー（2026年1月27日）
講師：（公社）公益法人協会
- ・管理職向けメンタルヘルス研修（2026年2月26日）
講師：東京産業保健総合支援センター